

建設リサイクル推進計画2014の 施策レビューについて

- 建設リサイクルの推進実績
(H30センサス暫定値結果であるため、数値訂正の可能性あり)
 - 建設廃棄物の排出量と再資源化等率
 - 建設発生土の搬出状況
 - 建設廃棄物の品目別の再資源化率
- 建設リサイクル推進計画2014施策評価方法
- 建設リサイクル推進計画2014施策レビュー結果

「建設リサイクルの推進実績」(H30センサス暫定値)

- 建設廃棄物の再資源化・縮減率は、約96%と前回調査(H24)と横ばい。
- 建設発生土有効利用率は約90%と前回調査(H24)より向上。

	平成20年度 (A)	平成24年度 (B)	平成30年度 (暫定値) (C)	平成30年度(C) -平成24年度(B)	建設リサイクル推進計画2014	
					平成30年度 目標値	目標値 達成状況
アスファルト・コンクリート塊の再資源化率	98.4%	99.5%	99%	確定値が出来次第お知らせします	99%以上	確定値が出来次第お知らせします
コンクリート塊の再資源化率	97.3%	99.3%	99%		99%以上	
建設発生木材の再資源化・縮減率	89.4%	94.4%	96%		95%以上	
建設汚泥の再資源化・縮減率	85.1%	85.0%	88%		90%以上	
建設混合廃棄物の再資源化・縮減率	39.3%	58.2%	59%		60%以上	
建設混合廃棄物の排出率	4.2%	3.9%	2.5%		3.5%以下	
建設廃棄物の再資源化・縮減率	93.7%	96.0%	96%		96%以上	
建設発生土有効利用率	71.7%	77.8%	90%	80%以上		

※建設副産物実態調査結果(暫定版→確定版)で数値に変更が出る場合がある

「建設リサイクルの推進計画2014」施策評価方法

○重点施策7項目16施策の実施評価（レビュー）結果については、各施策の効果や実施状況を踏まえて評価し、次期計画における施策の取扱いを検討する。
（詳細は施策実施状況一覧表を参照）

判断基準

効果

- ・再資源化、縮減率等
- ・目標達成状況 etc

※建設副産物実態調査結果などで、定量的に評価出来ない施策については、定性的に効果を把握

実施状況

- ・施策実施箇所
- ・施策実施上の課題 etc

※全国における各施策の実施状況や、施策実施上での課題の抽出などから、施策の実施状況を判断

評価

- 目標達成したが、取組に関する認知度が低いなど一部改善の余地がある。
- 目標未達成であるが、再資源化縮減率は向上しており、効果があった。
- 目標達成し、かつ関係機関からも評価されており、効果が高い。 etc

次期計画取扱い

- 建設副産物実態調査（確定値）等を踏まえた評価結果から、次期計画での継続、統廃合、廃止等の取扱いを決定する。（次回会議以降）